

# 航空交通管理センター(航空交通管理情報業務)

航空交通管理管制運航情報官は、航空機の安全で効率的な運航に欠かせない様々な情報を扱うスペシャリストとして、以下の4つの業務を行っている。

## 【スポット総合調整】

全国の空港のスポット(駐機場)運用計画を収集し、定期便が各空港のスポットを適切に、また効率よく使用出来るよう検証を行い、各空港のスポット運用を支援している。さらに、運航当日においては、発着時刻の乱れや使用機材の変更などの情報を収集し、スポットを利用する定期便への影響を検証して、円滑な航空交通流管理の実施を支援している。

## 【運航情報調整】

気象状態を含む空港運用状況の情報を常時収集し、離着陸機に大きな影響等が発生した場合、それら状況を管制機関及び航空会社等に情報提供することにより、円滑な航空交通流を支援している。  
また、ダイバート(航空機が運航環境の変化により目的地を変更すること)の可能性に係る情報を常時収集し、ダイバートへの早期対応や適切な代替空港の選定支援を行っている。

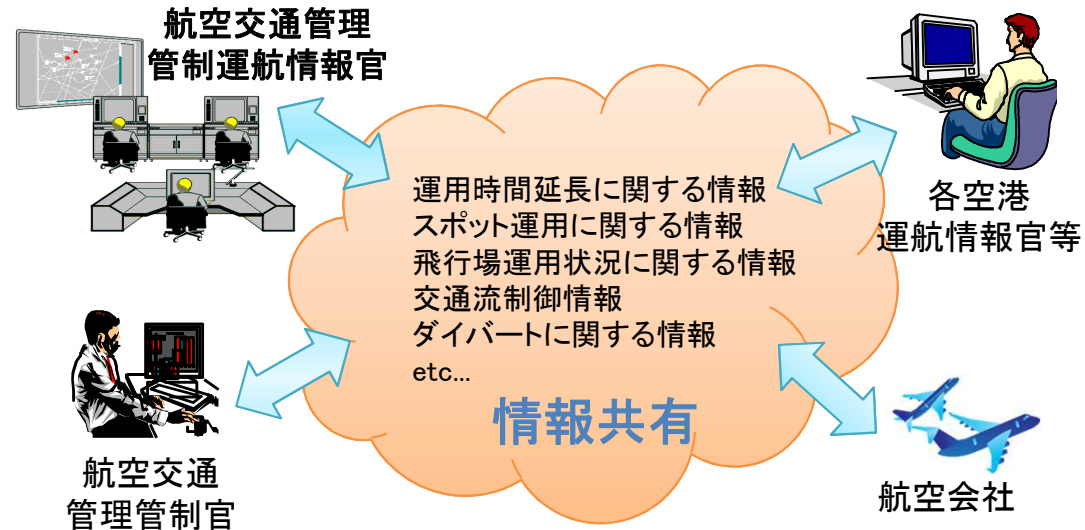
## 【情報管理】

飛行計画、航空情報及び気象情報のデータベースを基に国内外の関係機関及び航空会社並びに空港事務所等から入手したデータを関連づけ、様々な業務に必要な統計情報の分析及び編集を行っている。  
また、航空局内関係等からの要請に応じた分析・編集や自らも統計・分析作業を行い各種検討において提案を行っている。

## 【航空通信】

日本国内及び世界各国と結ばれた航空通信ネットワークにより、飛行計画、航空情報及び気象情報等の交換に必要な調整・支援を行っている。  
また、アジアと北米間の情報の中継も担っていることから、通信回線の障害時には、台北やソルトレイク等の隣接通信局と代替通信経路の設定や解除に関する調整も行っている。

## 航空交通の円滑な流れと安全を確保



※AFTN : Aeronautical Fixed Telecommunication Network  
AMHS : ATS(Air Traffic Service) Message Handling System